

当院で行っている臨床研究に関するお知らせ

研究課題名：大腸 CT 検査の消化器がん検診における意義

本研究は山下病院倫理委員会で審査され、病院長の許可を得て実施しています。

個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

1. 研究の対象

2018年4月1日～2025年12月31日の期間に山下病院で大腸 CT 検査を行った方。

2. 研究の概要

(研究目的)

大腸内視鏡検査は前処置・検査がつらいため敬遠される傾向にあるため、当院では2003年より大腸 CT 検査を行っています。大規模に大腸 CT 検査を行っている医療機関は少なく、当院に保存された膨大な情報から、消化器がん検診における有用性を調査する目的で本研究は行われます。なお、この研究では過去当院を受診された時の検査データを使用するため、追加で検査を行うことや何らかのご負担がかかるようなことはありません。

(方法)

当院で大腸 CT 検査を行った際の大腸 CT 検査データを使用し、大腸 CT 検査で病気が指摘された方の中から大腸内視鏡検査の実施の有無を調査します。大腸内視鏡検査を行った方の中で大腸腫瘍が見つかった方に対して、大腸 CT 検査結果と大腸内視鏡検査結果を比較して病気発見の精度、偶発症発生率などを調査します。

(研究期間)

倫理委員会承認日～2026年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：年齢、性別、検査データ、大腸内視鏡検査及び大腸 CT 検査の実施歴、治療情報など（この際、生年月日、カルテ番号、住所、氏名など個人を特定できる情報は研究に用いません）

追加の試料・検査：なし

収集されたこれらの情報は、解析を行う前に氏名、カルテ番号などの個人が特定できるデ

